

概要説明書(外部評価用) 例

事務事業名	総合図書館運営事業	体系コード	41112-07
主管課	教育委員会 寒川総合図書館		

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託業務 (委託先)		
	<input type="checkbox"/> 補助金 【 <input type="checkbox"/> 直接 <input type="checkbox"/> 間接 】 (補助先 実施主体:)		
	<input type="checkbox"/> その他 ()		

	事業	詳細	事業費
主な事業の内容と事業費	図書館協議会の開催	事業計画や図書の選定など、図書館運営全般についての意見聴取のため図書館協議会を年3回開催。(1回当たりの委員報酬8.7千円、委員数は5人)	122
	図書館資料の選定・受け入れ・保存及び利用貸し出し	図書購入費 20,000千円 新聞・雑誌購入費 2,511千円 その他 消耗品 1,113千円	23,624
	レファレンス業務	利用者のレファレンス業務を実施。	0
	公民館図書室及び学校との連携	公民館図書室から、図書館資料のリクエストを受けるなどの連携を図る。小学生の利用体験や中学校生の職場体験の場、教職員の研修の場として提供。	0
	図書館講座、展示会、読み聞かせ開催	図書館講座 年1回開催(講師謝礼 30千円) 展示会 年2回開催 読み聞かせ毎週1回開催	30
	図書館システムの活用	図書館システムの借り上げ料・保守点検 32,470千円	32,470
	臨時職員等人件費	図書館アドバイザー 1名 臨時職員 30名	31,732

コスト	人件費	課内職員数	従事職員数	平均給与額等	人件費(概算)	事業費	87,978
		4.0	3.4	7,191	24,377	事業費総額	112,355

事業の必要性(休廃止したときの影響等) 生活様式の多様化により、現代社会で暮らしていくには、それに対応するいろいろな情報が必要である。図書館は、いつでも、誰でも図書・新聞・雑誌などの印刷資料やDVDなどの電子資料による情報の提供を無料で受けることができ、生涯学習のための重要な役割を果たしている。町民の図書館に対する期待とニーズは、来館者数が当初の予想を大きく上回るなど、開館後の好調な利用状況に現れている。

町における類似事業 公民館図書室運営事業(3公民館において図書業務を実施)
 ・寒川公民館図書室
 ・南部文化福祉会館図書室
 ・北部文化福祉会館図書室

比較参考値(他自治体の状況・ベンチマーク等)	住民1人当たりの貸し出し資料数(点)											
	寒川	厚木	海老名	藤沢	茅ヶ崎	平塚	鎌倉	逗子	葉山	大磯	二宮	愛川
	10.3	7.2	4.6	9.8	3.6	5.0	7.1	9.6	5.7	5.0	10.0	1.7

21年度の状況と今後の方針 役場との共用駐車場を新設したことにより、利用者用の駐車台数を増やし利便性を向上させた。平成22年3月末で町公民館(図書室)の閉鎖方針が決定した。図書館の利用状況に合わせ、臨時職員等の勤務時間の見直しを図り、人件費の抑制に努める。

特記事項(事業の沿革等) 平成18年11月3日に開設(規模)鉄筋コンクリート造4階建て 4,707㎡(4階部分は文書館として使用。図書館部分は3,431㎡)(開館時間)平日 午前9:00~午後7:00 土日祝日 午前9:00~午後5:00 (休館日)月曜(蔵書数)図書資料148,951点/視聴覚資料(CD,DVD)7,563点(年間貸出点数)493,473点 (年間図書館入場者数)324,987人

★事業費、人件費はすべて千円単位です。